

2021年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		若い世代の県内定着に向けた学生の確保と産学官連携による県内就職の促進					実施組織		第1ワーキンググループ						
取組内容		2023年度KPI		2021年度計画内容				2021年度計画内容に対する実施内容							
<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力を紹介発信</p> <p>②近隣県を対象とした学生募集の共同実施</p> <p>③県内高校生への進学情報（オープンキャンパス情報）の一斉発信</p> <p>④県内大学への進学状況を分析し高大接続対策へ活用（データ分析、検討会の開催）</p> <p>⑤高校生への共同模擬講義・実習の実施</p>		<p>a.</p> <p>①年10回</p> <p>②年1回</p> <p>③年1回</p> <p>④年1回</p> <p>⑤年1回</p>		<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①発信及び検証のためのアンケート調査の実施及び調査結果に基づく検証作業</p> <p>②県外への広報計画の準備</p> <p>③発信及び検証のための高校生アンケート調査の実施</p> <p>④高大接続プランを基に高校側と協議</p> <p>⑤共同模擬授業について高校側と意見調整</p>				<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①共同のYouTubeチャンネル「とくしま丸ごとキャンパスガイド」にて、参画高等教育機関の魅力を紹介発信。県内外に発信。「進学相談会（徳島市：主催は受験産業企業）」に参加し、対面で県内高校生等に大学の魅力を情報発信。（年57回）</p> <p>②「とくしま丸ごとキャンパスガイド」による県内外への魅力発信。鳴門教育大学と徳島大学は、「四国地区国立大学連合アドミッションセンター」を構成し、四国5国立大学との緊密な連携のもとで、進学ガイダンスを実施。（年54回）</p> <p>③徳島新聞Startt（6/24）にて県内高等教育機関のオープンキャンパス等の情報を一斉発信。徳島文理大学・四国大学の合同説明会を実施。「とくしま丸ごとキャンパスガイド」による県内外への魅力発信。（年55回）</p> <p>④県内4校の高校3年生800名を対象に、進学意識等の調査（7/1～7/30）を実施（年1回）</p> <p>⑤城西高校を対象に、徳島文理大学、四国大学が合同で講義を実施（年1回）</p>							
<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期の課題解決型インターンシップの拡大</p> <p>②産学官が共同企画した新たなインターンシッププログラムの実施</p> <p>③県内産業の魅力を発信する参加校共同授業の実施</p> <p>④地域指向型科目の共同授業化の推進</p> <p>⑤学生と県内企業経営者との交流会の開催</p> <p>⑥県内産業の魅力を伝える学生・保護者対象の就職説明会の共同開催</p> <p>⑦地域人材育成をテーマとしたFDの開催</p>		<p>b.</p> <p>①8高等教育機関</p> <p>②2件</p> <p>③年3科目</p> <p>④1科目</p> <p>⑤年9回</p> <p>⑥年2回</p> <p>⑦年3回</p>		<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期インターンシップについて産業界から意見聴取</p> <p>②新しいインターンシップの実施</p> <p>③共同授業の実施</p> <p>④共同授業の実施</p> <p>⑤アンケート調査結果による改善案の検討</p> <p>⑥就職説明会の実施</p> <p>⑦FDの開催</p>				<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学において、実践型インターンシップをオンラインにより実施するとともに、実施日が10日以上インターンシップに23人が参加。実践型インターンシップの拡大に向けた研修会を実施するとともに、同インターンシップのコーディネーターに関するマニュアルを作成。四国大学において6月から2月にかけて「学生開発プロジェクト」を実施。（8高等教育機関）</p> <p>②徳島大学において、新たな教育プログラムであるエクスターンシップを、7月から12月の間に開講【受講者：45人（徳島大学：42人、徳島文理大学：3人）、参加企業・団体：20機関】。（1件）</p> <p>③共同授業「徳島の魅力・徳島で働く」を、8月19日、20日、23日、24日にオンライン配信により実施【受講者数：延べ113人（うち7人は他県に進学した県出身の学生等）】。（年1科目）</p> <p>④COC+R事業参加校で単位互換に関する協定（7月27日付け）を締結し、令和3年度後期から9科目を対象科目とした。（9科目）</p> <p>⑤エクスターンシップにおいて、企業等の経営者・OBと学生のグループ対話や半日の企業等訪問を実施。四国大学において、11月、12月に県内起業家講演&交流会を開催するとともに、11月、2月にジョブセミナーを開催。（年10回）</p> <p>⑥7月、2月に三好市オンライン合同企業説明会を開催。（年2回）</p> <p>⑦徳島大学において、「FD地域人材育成フェスタ」を2月24日にオンラインで開催。四国大学・短期大学部が担当校となり9月に地域活性化人材育成FD・SDフォーラムを実施。（年2回）</p>							
<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①留学生共同サポートセンターの設置・運営</p> <p>②国内で実施される留学生向けの進学説明会（留学生募集活動）の共同参加</p> <p>③留学生向けの就職セミナーや企業との交流会など、就職支援の共同実施</p>		<p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②年2回</p> <p>③年3回</p>		<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①検証結果に基づく改善案の作成</p> <p>②参加回数・人数の拡大方策の検討</p> <p>③セミナー、交流会の共同実施及び実施効果等の検証</p>				<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①「留学生共同サポートセンターとくしま」主催により就職支援事業を実施。「藍住さくら団地」を活用した外国人留学生の居住確保支援を実施。11月に徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会（web会議）、3月に徳島地域留学生交流推進協議会を開催。</p> <p>②四国大学と徳島工業短期大学共同で、7月9日、8月6日、10月1日に「外国人留学生対象大学見学ツアー」を実施（年3回）</p> <p>③「留学生共同サポートセンターとくしま」において、「就職支援セミナー（10月8日、27日、12月15日）」、「県内企業のジョブフェア及び交流会（11月18日）」、「県内企業を知るオンラインバスツアー（1月21日）」を開催。（年5回）</p>							
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		2021年度未達成項目数 (0) 件				※ ¹ 取組内容の達成度 (3)		※ ² 年度計画の達成度 (3)						
	取組内容	a.) ①～⑤について実施済み。 b.) ①～⑦について実施済み。 c.) ①～③について実施済み。					年度計画	a.) ①、③について、四国大学において、発信及び検証のためのアンケート調査を実施。①、②については、広報媒体を新聞からYouTubeに変更して実施。③、④、⑤については、KPIを達成済み。 b.) ①、②、③、⑦については、実施内容がKPIの達成までには至らなかった。④、⑤、⑥については、KPIを達成済み。 c.) ①～③について、KPIを達成済み。							
今後の課題	a.) ①、②コロナ禍における、対面での相談会への参加。③県内大学等の連携であるため、参加しないとけない。 b.) c.) ①留学生サポートセンターについて、さらなる周知に努める必要がある。③各高等教育機関の就職先ニーズが異なる中、各機関独自の就職支援と共同での支援をどう組み合わせるかが課題。					対課題策の	a.) ①、②コロナウイルス感染症の状況により、対応が困難である。③広報の成果・効果が見えにくい面がある。 b.) c.) ①各機関が連携し、留学生に対する効果的な周知が図れるよう、引き続き検討する。③引き続き次年度以降の事業計画等について各大学と意見交換等を実施し、具体的な事業内容を策定する。								
取組に対する根拠資料データ															
a.) ①、②YOUTUBEリンク：https://www.youtube.com/channel/UckK6PIQ70C-OJK_cta6Lwtg ※ ¹ 、鳴門教育大学ウェブページ：「学部入学希望の皆さまへ」（学部進学相談会）のURL https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/02/014.html ※ ² ③令和3年6月24日徳島新聞startt ※ ¹ 、『とくしま丸ごとキャンパスガイド』のURL https://www.youtube.com/channel/UckK6PIQ70C-OJK_cta6Lwtg ※ ² ④県内高校生対象IR調査報告書 ※ ¹ ⑤城西高校から四国大学への依頼文 ※ ¹								資料保管責任者							
b.) ①シラバス 徳島大学H P内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx ※ ³ ③「徳島の魅力・徳島で働く」チラシ ※ ³ ④とくしま創生人材・企業共創プログラム事業における単位互換に関する協定書 ※ ³ 、令和3年度事業参加校単位互換科目受講生の募集について ※ ³ ⑤シラバス 徳島大学H P内URL：http://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx ※ ³ 、県内起業家講演&交流会チラシ ※ ¹ 、ジョブセミナー次第 ※ ¹ ⑥三好市オンライン合同企業説明会チラシ（2021版、2022版） ※ ¹ ⑦「FD地域人材育成フェスタ」チラシ ※ ³ 、地域活性化人材育成FD・SDフォーラムの開催案内 ※ ¹															
c.) ①運営委員会開催通知・資料 ※ ² 、徳島大学インターナショナルオフィスH P内「留学生共同サポートセンターとくしま」のURL：https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/tokushima_collaborative_support/ ※ ³ ②事業チラシ ※ ¹ ③事業チラシ、開催案内など ※ ¹ 、徳島大学インターナショナルオフィス「留学生のための就職支援」のURL：https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/career_support/ ※ ³								所属氏名				※ ¹ 四国大学、※ ² 鳴門教育大学、※ ³ 徳島大学 ※ ¹ 吉田、※ ² 日野、※ ² 平井、※ ³ 橋川、※ ³ 大村			
ワーキンググループ開催回数 () 回/年															
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		第1回6月11日(土)							第2回1月5日(水)		第3回3月 日()				

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）

2021年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		地域産業の活性化と地域課題解決への貢献					実施組織		第2ワーキンググループ			
取組内容		2023年度KPI		2021年度計画内容				2021年度計画内容に対する実施内容				
<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①光関連産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施</p> <p>②ものづくり産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施</p> <p>③農林水産業の6次産業化の推進</p> <p>④産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の推進</p> <p>⑤インダストリー4.0に対応した、AI、IoT、ロボット等の実装の支援</p> <p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①市町村との共同研究・共同事業の推進</p> <p>②県との連携事業の推進</p> <p>③県民の生活習慣改善や心身の健全を支援する健康改善プログラムの実施</p> <p>④大学と県が連携して実施しているボランティアパスポート事業の拡充</p> <p>⑤共同での地域の課題解決フィールドワークの実施</p> <p>⑥地域課題解決の取組に必要なとなる専門教員の共同人材バンク設置</p> <p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①学生が災害発生時にボランティア活動等を円滑に行える体制の整備</p> <p>②自治体が開催する災害関係の会議への参画</p> <p>③大学版BCPの作成の推進</p> <p>④共同での防災講座の実施</p>		<p>a.</p> <p>①3件</p> <p>②73件</p> <p>③57件</p> <p>④年11回</p> <p>⑤7件</p> <p>b.</p> <p>①15件</p> <p>②130件</p> <p>③3プログラム</p> <p>④5高等教育機関</p> <p>⑤3テーマ</p> <p>⑥2020年設置</p> <p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②8高等教育機関</p> <p>③8高等教育機関</p> <p>④3講座</p>		<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①共同研究等の実施</p> <p>②共同研究等の実施</p> <p>③6次産業化に向けた具体的な取り組み</p> <p>④新しい取り組みの実施</p> <p>⑤具体の取り組みの実施</p> <p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①実施に向けて関係機関との調整・準備</p> <p>②新たな連携事業の実施</p> <p>③健康改善プログラムの開発</p> <p>④ボランティアパスポート事業の拡充実施</p> <p>⑤フィールドワークについて学生と地域との事前打合せ・調整</p> <p>⑥人材バンクの運営</p> <p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①訓練の実施</p> <p>②自治体の災害会議への参加・加盟組織への周知</p> <p>③必要に応じた支援の実施</p> <p>④防災講座の実施</p>				<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①新たに四国大学と徳島工業短期大学が研究を開始し、4高等教育機関で実施した。(37件実施)</p> <p>②各高等教育機関により共同研究を実施した。(55件実施)</p> <p>③各高等教育機関において6次産業化に向けた取り組みを実施した。(9件実施)</p> <p>④阿波藍の魅力を発信するとともに、新たな取り組みを実施した。(8回実施)</p> <p>⑤徳島大学により地域産業人材育成講座を実施した。(2件実施)</p> <p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①各高等教育機関において市町村との共同研究・共同事業を実施した。(18件実施)</p> <p>②県と高等教育機関において連携事業に取り組むとともに、新たな連携事業を実施した。(133件実施(うち、新たな連携事業8件))</p> <p>③各高等教育機関において健康改善プログラムに取り組むとともに新規プログラムを開発した。(12プログラム実施(うち、新規プログラム8件))</p> <p>④新たに四国大学・四国大学短期大学部に拡充して実施した。(5高等教育機関)</p> <p>⑤フィールドワークについて事前調整の上、4高等教育機関9名、高等学校1名で実施。(3テーマ)</p> <p>⑥8高等教育機関から専門教員の情報を集約し、徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」のホームページ上において、「地域課題解決共同人材バンク」を設置、運営した。</p> <p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①徳島文理大学によりボランティア訓練を実施し、3高等教育機関から12名が参加。</p> <p>②自治体の災害関係の会議に全ての高等教育機関が参加し、加盟組織に周知した。(8高等教育機関)</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対策など全ての高等教育機関でBCPを作成した。(8高等教育機関)</p> <p>④徳島大学および徳島文理大学で防災講座を実施した。(3講座)</p>				
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		2021年度未達成項目数 (0) 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)		※ ² 年度計画の達成度 (3)					
	取組内容	a.)①～⑤について実施済み。 b.)①～⑥について実施済み。 c.)①～④について実施済み。		年度計画	a.)①新規事業を含み計画を大幅に上回り実施。②概ね計画通り実施。③各高等教育機関が取り組み、昨年度実績から増となった。④新規事業を行いおおむね計画通り実施。⑤徳島大学が実施した。KPI達成に向けて今後推進。 b.)①それぞれの高等教育機関の共同研究・事業企画によりおおむね計画通り実施。②新規事業を含み計画を上回り実施。③妊婦を対象とした新規プログラムなどを含み計画を上回り実施。④四国大学・四国大学短期大学部が新規に参入しKPIの達成となった。⑤コロナ禍のためテーマは縮小となったが、新たな事業打ち合わせを行うなど概ね計画通り実施。⑥9月に設置、運営。 c.)①2019年度整備済み。3教育機関の学生参加により訓練を実施。②自治体の災害会議に全ての高等教育機関が参画。③全ての高等教育機関でBCPを作成。④防災に関する公開講座等を実施。							
今後の課題	a.)①光産業分野の共同研究が活発になる一方で、③・⑤については、KPI達成のため、さらなる推進が必要である。 b.)⑤について、今年度は構想段階で終わった事業もあるので、来年度に向けて具体化を進める必要がある。 c.)①について、さらに多くの高等教育機関からの学生参加につなげる必要がある。		対応課題	a.)③6次産業化の取り組みと⑤AI、IoT、ロボット等の実装化支援について、b.)地域課題解決への貢献に向けた取り組みと合わせて考えるなど、さらなる推進策を検討する。 b.)⑤地元受け入れ先と綿密な調整の上、事業の具体化に努める。 c.)①プラットフォーム各機関が連携し、さらなる内容充実と周知協力で努める。								
取組に対する根拠資料データ												
○【集計データ】PF第2WG 2021年度の取組調査について(調査項目・回答様式)										資料保管責任者		
a.④四国大学HP ⑤徳島大学HP・令和3年度地域産業人材育成講座パンフレット										所属 徳島文理大学地域連携センター 氏名 藤巻 晃		
b.①四国大学HP、阿南工業高等専門学校HP ②徳島県・高等教育機関連絡会議資料③徳島文理大学HP、四国大学HP ④ボランティアパスポート実施状況まとめ⑤「とくしま TRY MIRAI PROJECT」HP⑥徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」HP												
c.①学生災害ネットワーク登録者一覧②徳島県調査まとめ③各機関HP等④徳島県地域防災推進員(防災士)養成研修実施要項、徳島文理大学オンライン公開講座チラシ												
ワーキンググループ開催回数 (6) 回/年												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		第1回6月3日(木)	第2回7月27日(火)	第3回8月17日(火)					第4回1月14日(金)	第5回2月7日(月)	第6回3月7日(月)	

※¹※² 達成度(4段階) : 4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)

2021年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		次代を担う人材の育成と多様な学び直しの機会の創出				実施組織		第3ワーキンググループ			
取組内容		2023年度KPI		2021年度計画内容				2021年度計画内容に対する実施内容			
<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議など共同のFD・SD研修会の開催</p> <p>②プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施</p> <p>③各高等教育機関等有するサテライトオフィスの共同利用の推進</p> <p>④新たな単位互換や共同授業化の推進</p> <p>⑤施設の共同利用の推進</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①小・中・高校生向けの科学技術人材を養成する体験講座の実施</p> <p>②小・中・高校生向けの学習支援事業（大学の施設、設備を活用した事業）</p> <p>③小・中・高校生を対象としたキャリア形成支援の実施（出前授業の実施等）</p> <p>④共同での地域の課題解決フィールドワークの実施（再掲）</p> <p>⑤長期の課題解決型インターンシップの拡大（再掲）</p> <p>⑥地域人材育成をテーマとしたFDの開催（再掲）</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①県民ニーズに対応した生涯学習に係る新しい公開講座の充実</p> <p>②産業界のニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供</p> <p>③教育訓練給付金制度を活用したリカレントプログラムの充実</p> <p>④リカレント教育情報の一元的発信</p>		<p>a.</p> <p>①3回</p> <p>②推進</p> <p>③推進</p> <p>④3科目</p> <p>⑤推進</p> <p>b.</p> <p>①6講座</p> <p>②30講座</p> <p>③170回</p> <p>④3テーマ</p> <p>⑤8高等教育機関</p> <p>⑥年3回</p> <p>c.</p> <p>①40講座</p> <p>②20プログラム以上</p> <p>③4プログラム</p> <p>④2019HP開設</p>		<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①共同FD・SD研修会の実施</p> <p>②共同IR実施方法などの検討</p> <p>③共同利用の実施</p> <p>④新しい単位互換制度の実施</p> <p>⑤施設の共同利用の実施</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①新しく実施する講座の内容・方法等の検討と準備</p> <p>②新しく実施する学習支援事業の内容方法の検討と準備</p> <p>③広報活動を活性化するとともに学校側の要望アンケート調査の実施</p> <p>④フィールドワークについて学生と地域との事前打合せ・調整</p> <p>⑤長期インターンシップについて産業界から意見聴取</p> <p>⑥FDの開催</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①ニーズ調査結果に基づく新しい公開講座案の作成と実施準備</p> <p>②新プログラムの案の作成</p> <p>③新しいリカレントプログラム案の作成</p> <p>④「とくしまリカレント教育支援センター（仮称）」を開設し、リカレント教育に関する情報を集約し、徳島県立総合高等学校HPにおいて情報を発信。</p>				<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPODにおける共同研修会を実施。（6回）</p> <p>②共同IRの実施方法をWGで検討し、県内高校4校の3年生約800名とプラットフォーム参画校8校の卒業年次の学生を対象に、計2回IR調査を実施。</p> <p>③徳島大学のサテライト事業 西阿波学舎の共同利用について三好市と交渉。</p> <p>④コンソーシアムとくしまにおいて参画大学感で新しい単位互換を実施。（6科目）</p> <p>⑤参加校間で共同利用できる配信用設備を購入し利用開始。</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①WGにおいて実施する講座の内容等の検討を行い、徳島大学、徳島文理大学、四国大学、阿南工業高等専門学校が参加して、「とくしま科学技術アカデミーsociety5.0体感事業」を実施。（5講座）</p> <p>②コロナ禍において、小中高との接続を円滑に行う為の検討がなされ、参加校が共同で利用できる配信システム用の機器をプラットフォームで購入した。四国大学、阿南工業高等専門学校において、大学の施設・設備を活用した学習支援事業を実施。（10講座）</p> <p>③高校へのヒアリング調査を行うとともに、IR調査により高校生のニーズ調査を実施した。徳島文理大学と四国大学共同で大学の魅力を伝える説明会を実施。（1回）</p> <p>④フィールドワークについて事前調整の上、4高等教育機関9名、高等学校1名で実施。（3テーマ）</p> <p>⑤徳島大学において、実践型インターンシップをオンラインにより実施するとともに、実施日が10日以上のインターンシップに23人が参加。実践型インターンシップの拡大に向けた研修会を実施するとともに、同インターンシップのコーディネートに関するマニュアルを作成。四国大学において6月から2月にかけて「学生開発プロジェクト」を実施。（8高等教育機関）</p> <p>⑥徳島大学において、「FD地域人材育成フェスタ」を2月24日にオンラインで開催。四国大学・短期大学部が主担当校となり9月に地域活性化人材育成FD・SDフォーラムを実施。（年2回）</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①昨年度実施したアンケート調査を基に、四国大学にて「はじめてのZOOM体験講座」、「オンライン座談会講座」、徳島大学にて「次世代光講座」を3回実施した他、オンラインでの公開講座45回を実施。（31講座）</p> <p>②徳島県中小企業団体中央会と連携した産業界のニーズに対応したプログラムを作成。（1プログラム）</p> <p>③四国大学にて専門実践教育訓練給付金及び一般教育訓練給付金を活用している。（2プログラム）</p> <p>④「とくしまリカレント教育支援センター」にて、リカレント情報を発信。</p>			
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		2021年度未達成項目数 0 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)		※ ² 年度計画の達成度 (3)				
	取組内容	<p>a.)①～⑤について実施済み。</p> <p>b.)①～⑥について実施済み。</p> <p>c.)①～④について実施済み。</p>		年度計画		<p>a.)①TSPD会議で各大学が研修会を実施。②高校、高等教育機関を対象にIR調査を実施。③三好市のにし阿波学舎の共同利用について交渉。④各機関間個別の単位互換制度に加えコンソーシアムとくしまで共同の単位互換を実施。⑤共同利用できる配信用設備を購入。</p> <p>b.)①WGにおいて内容検討の上、講座実施。②コロナ禍における高大接続のあり方としてオンラインでの内容を検討。③IR調査をもとに高校との協議を行い合同の説明会などを企画し実施。④産業界や自治体と協議を行いフィールドワーク実施に向けた打ち合わせを実施し企画を作成。⑤徳島大学にて産業界への意見聴取を実施⑥四国大学、徳島大学にて地域人材育成をテーマとしてFDを開催。</p> <p>c.)①WGで方向づけたオンライン講座の開発と拡充を推進。②産業界と共同でプログラムを開発。③四国大学にて2プログラムを実施。④とくしまリカレント教育支援センターにて情報を発信。</p>					
今後の課題	<p>a.) ③サテライトオフィスの共同利用について、自治体等のステークホルダーも交えて利用方法や条件等を検討すること。</p> <p>b.) ①、②、③小中高のニーズを捉えたプログラムの開発と回数の拡大。</p> <p>c.) ①、②ニーズに対応したプログラムの開発と回数の拡大。</p>				対課題策の		<p>a.) ③各機関との協議を密に行い、互いにメリットが得られる共同利用条件などを検討する。</p> <p>b.) ①、②、③高校等でのIR調査をもとにプログラムの開発し、よりニーズを捉えたプログラムの実施と回数増大を図る。</p> <p>c.) ①、②試行的なプログラムを行い、新たな需要開拓を行うことで2023年度に向けて回数拡大を図る。</p>				
取組に対する根拠資料データ											
<p>a.令和3年度SPOD加盟校内プログラム一覧、県内高校生対象IR調査報告書・県内大学生高専生対象IR調査報告書、第10回第3WG議事録、COC+R単位互換科目一覧、第15回WG資料購入機材詳細表</p> <p>b.Society5.0体感事業チラシ、2022取組調査項目（※チラシ当は各校で保管）、合同説明会依頼書、神山町地域課題解決型FW企画書、徳島大学実践力養成型インターンシップ及び学生開発プロジェクトのチラシ、地域活性化人材育成FD/SDフォーラム動画データ、FD地域人材育成フェスタチラシ</p> <p>c.四国大学令和3年度公開講座プログラム、徳島大学次世代光講座チラシ、産業界の重要課題の解決を図るためのリカレント教育事業提案書、四国大学HP、とくしまリカレント教育支援センターHP</p>										資料保管責任者	
										所属 四国大学	
										氏名 吉田 寛夫	
ワーキンググループ開催回数 (8) 回/年											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回4月15日(木)		第2回6月15日(火)	第3回7月29日(木)		第4回9月30日(木)		第5回11月5日(金)	第6回12月10日(金)	第7回1月28日(金)		第8回3月16日(水)

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）